

学校名	小平市立小平第一小学校	実践年月日	平成16年10月27日
指導者	塩谷久江・山倉 尚	授業コード	F - 13

学年	第4学年	教科	社会科
単元名	玉川兄弟と玉川上水		
単元の目標	<p>【関心・意欲・態度】 玉川兄弟の働きに関心をもち、意欲的に調べ、考えながら追究している。自分たちの住む東京の開発に尽くした玉川兄弟の働きを基に、東京に対する誇りと愛情をもつ。</p> <p>【思考・判断】 玉川兄弟の働きについて問題意識をもち、学習の見通しをもって追究・解決している。 調べたことをもとに、地域の人々の生活の向上に尽くした玉川兄弟の働きや苦心を考え、適切に判断している。</p> <p>【観・資・表】 玉川兄弟の願いや工夫・努力、苦心、地域の人々の生活が向上したことなどを、郷土資料館や上水などを見学するなどして具体的に調べている。 調べた過程や結果を新聞などにまとめ、分かりやすく表現している。</p> <p>【知識・理解】 玉川兄弟の願いや工夫・努力、苦心、地域の人々の生活が向上したことなどが、分かっている。</p>		
単元の指導計画	<p>玉川上水のルートや兄弟の働きについて具体的に予想する活動を通して、自分の学習問題をもつとともに、学習の計画を立てる。 (2時間)</p> <p>羽村郷土博物館や羽村取水堰を見学する。 (3時間)</p> <p>文章資料やインターネットなどを使って情報を集めて、自分の問題を調べる。 (2時間)</p> <p>調べて分かったことなどを新聞にまとめる。 (2時間)</p> <p>調べて分かったことを発表し合うと共に、玉川兄弟の苦心や、江戸の人々の生活がどのように変わったかについて話し合う。 (2時間)</p> <p>玉川兄弟の働きについて考えたことを作文にまとめる。 (1時間)</p>		
本時のねらい	玉川上水のルートや兄弟の働きについて具体的に予想する活動を通して、自分の学習問題をもつ。		

<p>導入</p>	<p>玉川上水の写真を見て気付いたことを発表する。 ・堀の幅など 三鷹市教育委員会作成のHP</p>
<p>展開</p>	<p>自分が江戸時代に生きていたら，どの川から，どのようなルートで水路を引くかを予想し，学習シートに書く。 ・どの川から水をひくか ・どのようなルートにするか ・なぜ，その川や取水箇所を選んだのか</p> <p>自分の考えた水路のコースなどを発表し合う。</p> <p>玉川上水の実際のコースを，インターネット上で確かめる。 三鷹市教育委員会作成のHP http://www.education.ne.jp/kyoiku-center-mi/tamagawa/</p>
<p>まとめ</p>	<p>自分が考えたルートと，実際のルートとを比較して，疑問に思ったことを学習シートに書く。 ・なぜ多摩川を使ったのか ・なぜ4 2 キロも先の羽村を取水口に選んだのか</p>

<p>デジタルコンテンツの利用計画と利用趣旨</p>	<p>【利用計画】 三鷹市教育委員会作成のHPの写真を活用して，玉川上水の堀がどのくらいの大きさかを確認できるようにする。</p> <p>実際の流路を画面上で示すことで，自分の描いた上水の予想コースとの違いを確かめることができるようにする。</p> <p>【利用趣旨】 実際の玉川上水の堀を画面上で示すことで，上水のルートについて「近い所から水路を引こう」「大きな川から水を引こう」など，子どもなりの様々な発想が引き出せるようにする。</p>
----------------------------	---